

平成17年度 決算報告書

国立大学法人旭川医科大学

(単位：百万円)

| 区 分                 | 予 算 額  | 決 算 額  | 差 額<br>(決算－予算) | 備 考  |
|---------------------|--------|--------|----------------|------|
| 収入                  |        |        |                |      |
| 運営費交付金              | 5,529  | 5,529  | 0              |      |
| 施設整備費補助金            | 172    | 208    | 36             | (注1) |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 33     | 33     | 0              |      |
| 自己収入                | 12,477 | 13,485 | 1,008          |      |
| 授業料、入学金及び検定料収入      | 609    | 605    | △4             |      |
| 附属病院収入              | 11,828 | 12,768 | 940            | (注2) |
| 雑収入                 | 40     | 112    | 72             | (注3) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等   | 623    | 739    | 116            | (注4) |
| 長期借入金               | 1,527  | 1,527  | 0              |      |
| 承継剰余金               | 89     | 61     | △28            | (注5) |
| 目的積立金取崩             | 0      | 145    | 145            | (注6) |
| 計                   | 20,450 | 21,727 | 1,277          |      |
| 支出                  |        |        |                |      |
| 業務費                 | 15,846 | 16,465 | 619            | (注7) |
| 教育研究経費              | 5,009  | 4,536  | △473           |      |
| 診療経費                | 10,837 | 11,929 | 1,092          |      |
| 一般管理費               | 928    | 931    | 3              |      |
| 施設整備費               | 1,732  | 1,768  | 36             | (注8) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等  | 623    | 650    | 27             | (注9) |
| 長期借入金償還金            | 1,437  | 1,433  | △4             |      |
| 計                   | 20,566 | 21,247 | 681            |      |
| 収入－支出               | △116   | 480    | 596            |      |

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、補正事業としてアスベスト対策事業費が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。

(注2) 附属病院収入については、病床稼働率の向上、患者数や手術件数の増により予算金額に比して決算金額が940百万円多額となっています。

(注3) 雑収入については、主として駐車場使用料収入の増により予算金額に比して決算金額が72百万円多額となっています。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して116百万円決算金額が多額となっています。

- (注5) 承継剰余金については、損害賠償金額が確定したことにより予算金額に比して決算金額が28百万円少額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった目的積立金を取り崩したことにより、145百万円決算金額が多額となっています。
- (注7) 業務費については、附属病院収入の増加により、診療経費が増加したため、619百万円の増となっています。
- (注8) 注1に示した理由により、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。
- (注9) 注4に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっています。